

# カトリック河原町教会だより

2014年9月

2014年 平和旬間行事 ～平和を願う～ 祈りをともに



8月3日(日)に河原町教会平和旬間行事が行われました。10時半からのミサは、大阪教区の松浦司教様と、比叡山宗教サミットに参加のためにパチカンから来日されたインドニル神父様(スリランカ出身)、大塚司教様、濟州教区の夫助祭の共同司式によるものでした。聖堂いっぱいの会衆は、ミサを通し平和への思いと願いを新たに、心を合わせて祈りました。

(左から) インドニル神父・夫助祭・松浦司教・大塚司教

ミサ後には聖堂において、『非暴力による平和な世界』の実現～「憲法への関心」と題して、松浦悟郎司教様の講演会が行われました。この日集まった多くの参加者たちは、熱心に耳を傾けていました。

## 時を見分ける

「偽善者よ、このように空や地の模様を見分けることは知っているのに、どうして今の時を見分けることを知らないのか。」(ルカ 12・56)

私は小さい頃に、晴れだと家の中からお百姓さんが“くわ”を担いで出てき、雨になる前には“みの”(わら等でできた雨具)をつけて出てくるという、おもちゃを持っていました。

イエス様は「時のしるしを見分ける」ようにとおっしゃっています。ユダヤで伝統的な信仰の中には正しいものもあるが、単なる慣習だけのものとも言われました。また、御父のみ旨を示そうとされましたが、認めない人はたくさんいたのです。



## 洛東ブロック担当 花井 拓夫 神父

教会はキリスト以来二千年続いています。その時、その時代に求められる教会を作っていかなければなりません。

聖パウロは「あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい」(コリントⅡ8・7)と語っています。

公会議の現代世界憲章、正式には『現代世界における教会に関する司牧憲章』の第一部・第四章「現代世界における教会の任務」を読んでいただきたいと思えます。個人や社会に提供したい援助について示しています。

## 平和旬間行事「憲法への関心」講演会から

8月3日(日)  
10時半ミサ後～13時半  
講師：松浦 悟郎司教  
(大阪教区)

今年の平和旬間行事は、松浦悟郎司教様をお招きし『非暴力による平和な世界』の実現～「憲法への関心」と題する講演会を開催しました。

聖堂には200名以上のたくさんの人が集いました。講話を熱心に聴いた参加者から活発な質問も飛び交い、司教様はその一つひとつに丁寧に答えてくださいました。参加者一人ひとりが、改めて平和憲法への認識を深めることができたように思います。



◆レジメに書かれた憲法の前文と9条を皆で読み、国民主権のもと、崇高な理想と目的を掲げたこの憲法の素晴らしさと尊さを改めて認識しました。第二次世界大戦後69年間、平和憲法のもとに日本は戦争をすることなく現在に至っています。

これは、日本のみならず世界中に誇れる歩みであると語られました。



◆今の日本の動きの中で、司教様は、憲法を守るため、一人ひとりが声を上げ行動することの大切さを強調されました。そして、永井隆著『いとし子よ』の中から以下の文章を紹介されました。

「日本をめぐる国際情勢次第では日本人の中から、憲法を改めて戦争放棄の条項を削れ、と叫ぶ声が出ないとも限らない。そして、その叫びが、いかにももつともらしい理屈をつけて、世論を日本再武装にひきつけるかも知れない。その時こそ、誠一(まこと)よ、茅乃(かやの)よ、たとい最後の二人になっても、どんなのしりや暴力を受けても、きっぱりと『戦争絶対反対』を叫びとおしてくれ!たとい卑怯者とさげすまれ、裏切り者とたたかれても『戦争絶対反対』の叫びを守っておくれ!」

◆また司教様は、2014年8月号『カトリック生活』に掲載の文章中で、次のように述べておられます。

「なぜ宗教者が憲法問題に口を出すのかという意見もあるかと思いますが、この憲法前文、および9条の言わんとするところを理解すれば、日本国憲法にはどれだけ福音的な意味が込められているのかが分かります。……私たちはこの宝を手放すことなく理想の実現を目指し続ける、と誓うのです」。

### ●松浦悟郎司教プロフィール 1952年名古屋市生まれ。

1982年上智大学神学部卒業。カトリック司祭に叙階。1999年4月大阪教区補佐司教に任命、同年7月司教に叙階。カトリック中央協議会・社会司教委員会委員。2002年平和憲法を守り伝える「ピース9の会」を設立。



### ナイン 「ピース9の会」とは

基本的に1グループ3人で事務局に登録します。登録後、送付される憲法9条を書いたカードを周囲の人に配布したり、地域での勉強会や相互に資料を紹介し合うなど、平和憲法を守り伝えることを目指し活動している会です。

- る予定。④洛東ブロック合同教育部会(成人の部)は九月中に開催予定。⑤キリシタン研究会 聖人福者の記念日について、その日に最も近い主日の「教会からのお知らせ」に掲載し、記念日の周知と継承に努める。八月二十四日(日)に南蛮寺記念ミサを行う予定(司式は小立花神父)。機関誌「証灯」の秋号作成に着手した。⑥ザビエル訪れ会 七月は高齢者の訪問、手紙の発送、また継がりの会との共同作業により15名の近況把握ができた。年内訪問予定先は残り4件となった。継がりの会主催の絵手紙教室の参加者は徐々に増えている。
- 施設管理部 ①補聴システムの設置に向け準備中。②八月三十一日の教会美化デーに、前庭ベンチの塗装作業も予定。広報部 新しいウェブサイトに切り替えに向け、担当者が尽力している。
- 行事予定  
四ページの行事予定欄に記載。
- 協議事項  
◆クリスマス実行委員会からの報告  
十二月二十四日・市民クリスマスの前庭の飾り用にLEDキャンドルライトの購入を検討している。祭儀の模様を聖堂の外で映像展示することも検討中。
- ◆新しい補聴設備設置について  
ミサ中に実用テストの実施を行う等、導入に向けて準備が進んでいる。
- その他  
◆ブラジル・フマタス慈善協会支援バザーを十月二十六日(日)十時半ミサ後に開催することが承認された。
- ◆ミサ中、献金回収時に維持献金袋が紛失する事態が発生した。維持献金袋の回収方法について再検討し信徒に報告する。

## 土曜学校 錬成会 ♪ 祈り・学び・遊びをとおして イエスさまと出会う ♪

8月7日～9日、土曜学校の錬成会が、京都府南丹市「日吉山の家」で行われました。参加者は、小学生26名、中学生3名、高校生3名と大人16名の計48名で、一場神父様が同行、ご指導くださいました。

出発前から台風11号が接近、天気予報を随時チェックしながらのプログラム進行となりました。



■1日目 幸い雨は降らず、「府民の森」での昼食、郷土資料館と日吉ダムの見学、山の家入所式、きもだめし、花火…全てのプログラムをこなすことができました。

■2日目 朝から曇り空でしたが、カテケージスの時間の後、野外での飯ごうすいさんもできました。

ミサの後、「さあ、川遊び！」というところで、雨…。川遊びは断念し、亀岡から来てくださった崔神父様の差し入れのアイスクリームを食べながら、ビデオを観たり、ゲーム、キャンプファイヤーの準備をして過ごしました。キャンプファイヤーは、山の家の中でリー

ダー手作りの「ファイヤーもどき」を囲んでの、思い出深いものとなりました。



### ■今年のテーマは「いっしょにいてくださるイエスさま」

ミサとご聖体（聖体の秘跡）について学びました。カテケージスの時間には、2日目に『五つのパンと二匹の魚』、3日目は『みんなでサさげる』というDVDを観た後に、一場神父様から、ミサとご聖体の大切さについてお話を聞き、学年ごとに学びと分かち合いを行いました。



### ◇子どもたちのコメント

- ・台風が来ていたけれど、部屋の中のキャンプファイヤーなどリーダーたちが考え、工夫してくれて楽しかった。
- ・『五つのパンと二匹の魚』で少年がパンと魚をイエス様に差し出したところが心に残った。

- ・神父様のお話を聞いて、ご聖体は心をこめていただかないといけないと思った。
- ・キャンプファイヤーの時に神父様がお話の中で、「火をつけること（争いを始めること）は簡単だけれど、火を消す（争いをやめる）ことはむずかしい」と言われた言葉が心に残った。
- ・新しい友だちができてよかった。

■3日目 未明から大雨洪水警報が出ました。ミサ、カテケージス、山の家への退所式を終え、子どもたちの安全を考えて、予定より約4時間早く京都駅に着き解散しました。

### ◇サブリダー(中高生)のコメント

小学生が頼りにしてくれてうれしかった。リーダーやサブリダーの苦労がわかった。小学生の時に、いろいろな人たちに支えられていたことに改めて気づいた。



### ◇リーダーのコメント

台風の動きが気がかりな錬成会でしたが、参加者全員が協力し合って、安全に、楽しく過ごせたことは、大きな恵みでした。出発前から、お祈りで支えてくださった教会の皆様は心から感謝いたします。

### 河原町教会八月評議会報告要約

開催日 二〇一四年八月三日(日)

#### ■司祭団の報告

教会の適正配置、統廃合を目指した動きが教区内各所で実施されている。当教会でも将来的に課題が生じることも考えられるが、福音宣教と信仰の継承のために、信徒皆さんの協力を期待したい。

#### ■平和旬間行事と済州教区交流会の報告

松浦悟郎司教の講演会「憲法への関心」には約二百名が参加し、平和憲法を考える有意義なものとなった。済州教区交流会では、三日のミサに夫助祭と崔神父様が参加されたが、広島巡礼参加の中学生と禹神父は台風のために参加できなかった。

#### ■施設管理部ブロック合同部会

初めての合同部会を八月二日に開催した。各教会の実情等を話し合い、今後も合同部会を継続し、協力し合う方向で一致した。

#### ■部会報告

典礼部 白い祭服が古くなったため、四着の新調が提案、了承された。

財務部 維持費献金未納対象者の事務整理作業が完了次第、教会からのお知らせで予告通知を行った後、書面を送付して協力を呼びかける。

#### ■教育部 ①土曜学校 八月七日～九日の錬成会に向けて準備を行っている。参加

予定者は48名。台風接近中のため、緊急連絡網を備え、当日朝に連絡する。

#### ②中高生会 八月五日～七日の広島巡礼

参加者は中学生十名と青年リーダー三名の予定。教区高校生夏合宿(右近の足跡を訪ねる巡礼・金沢教会)には高校生一名が参加した。③教区教会学校研修会(八月二十日・土)には5～6名が参加す

## ◆ 2014年9月・10月の行事予定 ◆

(10月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定			
9 月	7	日	評議会 9月例会
	14	日	敬老感謝ミサ 10:30 ・ 懇親会 10:30 のミサ後
10 月	5	日	評議会 10月例会 ロザリオの祈り 10月 / 毎日曜日 10:00~10:20
	6	月	~10日(金) 教区司祭黙想会
	12	日	衣笠墓地清掃

## 衣笠墓苑清掃に行きませんか

10月12日(日)10時半のミサ後、衣笠墓苑の清掃を行います。爽やかな秋風を感じながら一緒に汗を流しませんか。約1時間の作業の後、樹の下で軽食を共にする予定です。



2014年5月25日清掃日に



## 河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## 信仰の学びのお知らせ

## ◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

## ◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「秘跡を学ぶ」

9月18日(木) 14:00

10月 2日(木) 14:00

11月13日(木) 14:00

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

## ◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

◆ 10時からミサが行われています。ミサにも分かち合いにも、ご自由にご参加ください。

## \* 補聴システムの導入について \*

ミサや講演会、各種勉強会などで、従来の放送設備では話されていることが聞き取りにくいと感じておられる方々のために、聖堂の中(ヴィリオンホールや会館会議室等も含みます)のどの位置にいても、はっきり聞き取っていただける装置の設置を進めています。正式名称は「聴覚障がい者用FM補聴システム」といいます。

通常補聴器を耳に装着していないと人の声が聞き取れない方、補聴器は必要ないが声が小さくなると聞き取れないという方にご協力いただきテストした結果、とても聞き取りやすくなるとの評価をいただいたので、正式にそのシステムの導入を進めているところです。

装置は受信機とイヤホンで構成されていて、イヤホンには人工内耳に対応した特別なものも用意する計画です。実際にご利用いただく時には、使い方を練習していただく必要がありますので、その時はご利用くださる皆さまのご協力をお願いします。(施設管理部)